



男女共同参画推進室ニュースレター

olive・heart



休日出勤時の託児を実施します

今年度も託児所の空いていない休日出勤日に、お子様をお預かりいたします。ご利用希望の方は、行事ごとの締切日までに、申込用紙を男女共同参画推進室までご提出ください。事務職員の方も利用できます。（協力：託児ボランティアあゆみ）

詳しくはHPをご覧ください。

【<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>】



	実施行事	会場	お預かり時間	申込締切
1	幸町学祭 11/1(土)	幸町キャンパス 男女共同参画推進室	8:30~17:00	10/27(月)
2	幸町学祭 11/2(日)			
3	推薦入試 11/22(土)	幸町キャンパス 男女共同参画推進室	8:30~18:30	11/17(月)
4	推薦入試 11/23(日)			
5	センター入試 1/17(土)	宗教法人薬王寺 経済学部 東向い	7:00~19:00	12/19(金)
6	センター入試 1/18(日)			

目次:

休日出勤時の託児について.....	1
香大っこサポーター養成講座 報告.....	2
オープンキャンパス相談コーナー	3
託児体験実習報告.....	4



香大っこサポーター 募集中!

香川大学男女共同参画推進室では平成26年度より学生ボランティア登録を実施しており、現在2名の学生が登録しています。今年度も学内の他時間外に保育や休日出勤などの状況等に協力いただける学生を募集します。イベントの前にご連絡しますので、ご都合の合う時間帯にボランティアとしてぜひ参加してください。
登録は簡単! 事前にお申込みいただき、下記の取組に同意すればOK! 今年度は新生児体験や妊婦体験ジャケットを用いた体験活動もありません!

あなたの力が必要です! ぜひ、ご登録をお願いします!

氏名	性別	学年	登録希望の理由	登録希望の期間
山田 太郎	男	1年	保育に興味があり、子どもと関わりたい。	1学期
田中 花子	女	2年	将来保育士になりたいので、経験がほしい。	2学期
佐藤 健一	男	3年	子どもと遊ぶのが好きで、ボランティアを通して社会貢献したい。	1学期・2学期
鈴木 美咲	女	4年	保育に興味があり、子どもと関わりたい。	1学期
高橋 誠二	男	1年	将来保育士になりたいので、経験がほしい。	2学期
渡辺 真由	女	2年	子どもと遊ぶのが好きで、ボランティアを通して社会貢献したい。	1学期・2学期
山本 拓也	男	3年	保育に興味があり、子どもと関わりたい。	1学期
水谷 愛子	女	4年	将来保育士になりたいので、経験がほしい。	2学期
石川 健太	男	1年	子どもと遊ぶのが好きで、ボランティアを通して社会貢献したい。	1学期・2学期
森田 花子	女	2年	保育に興味があり、子どもと関わりたい。	1学期
松本 誠二	男	3年	将来保育士になりたいので、経験がほしい。	2学期
佐々木 真由	女	4年	子どもと遊ぶのが好きで、ボランティアを通して社会貢献したい。	1学期・2学期

登録方法: 入団の申込み
① 申込書に記入し、写真1枚添付
② 申込書に記入した内容を教職員に提出
③ 登録が完了したら、登録カードを提出
④ 登録カードを提出したら、登録完了

お問い合わせ先: 香川大学 男女共同参画推進室
〒761-8657 香川県高松市 761-8657-1051 (内線1051)
http://www.kagawa-u.ac.jp/academic/

香大っこサポーター ってなに??

香大っこサポーターとは、香川大学の教職員や大学院生等の子どもたち「香大っこ」をみんなで育てていくためにお手伝いして下さる学生さんのことです。

サポートは託児を中心をお願いしており、子どもの預かりボランティアを通して仕事と子育ての両立や育児の大変さを少しでも体験してもらう目的で行っています。

香大っこサポーター 活躍の様子

サマースクール



学会託児



報告

2014.7.23 香大っこサポーター養成講座

香大っこサポーター養成講座報告書

日時: 平成26年7月23日(水) 13:30~16:00

場所: 北3号館1階313教室

参加者: 5名(男性: 2名 女性3名/法学部: 3名 経済学部2名)

7月23日(水) 幸町キャンパスで「香大っこサポーター養成講座」を実施し、5名の学生が出席しました。

まず副室長の石井教授から、男女共同参画の意義や子育てについてのお話や、昨年度までの香大っこサポーターの活動紹介がありました。また、個人情報・秘密の保持についての注意事項と傷害保険の説明がありました。

その後、昨年度香大っこサポーターに登録し、活躍してきた教育学部2年生の瀧本さん、伊藤君、安藝君から、昨年度の活動状況や、困ったこと、楽しかったこと、学んだことなどが紹介されました。今年度の受講生からの質問にも答えてくれました。

今年も託児ボランティアあゆみの梶ヶ谷真知子さんを講師としてお招きし、ご自身の子育て、託児ボランティアの紹介、お母さんから預かる時の注意点などをおうかがいしました。託児を引き受ける場合、危険を予測すること、子どもの様子を見逃さないこと、上手にコミュニケーションをとることが必要ということで、受講生同士でコミュニケーションゲームも行いました。

15時からは、いよいよ本物の親子の登場となり、5組の親子とのふれあいがはじまりました。8ヶ月から2歳までの5人の子どもたちと大学生が、梶ヶ谷さんが持ってきてくださったたくさんのおもちゃや絵本とともに楽しい時間を過ごしました。それと同時に医学部からお借りした妊婦体験ジャケットと新生児の人形も合わせて体験することになり、せっかくの機会ということで、受講生全員が妊婦体験ジャケットを身に付けました。皆それ自体の重さにとても驚いていました。中には、妊婦体験ジャケットのみならず、ずっしり重いマザーズバッグを肩にかけ、そして2歳のお子さんを抱っこするという、2人目妊娠中の状況を体験をさせていただいた学生もいました。

8月10日が予定日のお母さんと8カ月のお母さんもおられ、育児休暇も話題に上がり、2人目の妊娠という状況を想像してみる、など貴重な体験になりました。



報告 2014.8.7 オープンキャンパスで相談コーナー設置

8/7(木)にオープンキャンパスを訪れる女子中高生にむけて、女子大学院生・女子学部生が窓口になり、女子中高生が相談しやすい窓口を設置しました。男女共同参画推進委員の協力のもと、生き生きと研究・学業に取り組む女性たちに出会い、学部の様子や研究の一端に触れることで、進路選択の幅を広げ、自信の可能性について考える機会とする目的で毎年実施しています。

経済学部

経済学部では、11:30~14:00に、現役女子学生が相談に応じ、53名の高校生が訪れました。内容は、入学後の学生生活や授業・勉強に関する相談、入試対策に関する質問、寮に関する問い合わせなど多岐にわたりました。高校生の香川大学で学びたいという強い意志が感じられました。女子学生は和やかな雰囲気を作り、丁寧に相談に応じていました。相談者の95.2%が「不安は解消された」と回答しており、満足度も5点満点が90%、残り10%も4点の採点で、とても好評でした。

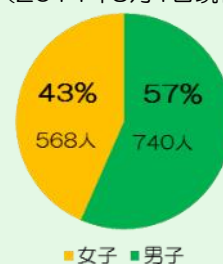
農学部

農学部では12:30~15:30に、4人の女子大学院生が相談を受けました。今年は場所が4階と離れていたにも関わらず、3時間の間に15名の学生、数名のご父兄が相談に来られました。入試、学生生活、研究生生活、就職先の進路、など多岐にわたって相談を受けました。今年は女子高校生のみならず男子学生の相談もありました。アンケート回答によると相談を受けた高校生は皆満足度は高く進路選択の参考になったようです。県外からの参加者の相談が多かったように感じました。

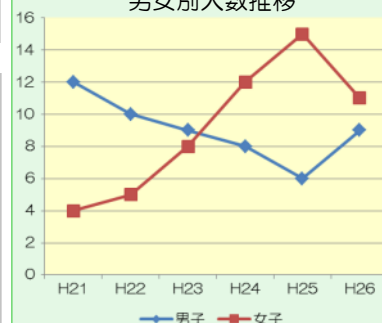


輝く女性研究者・卒業生が掲載されたロールモデル集を女子中高生に手渡しました。女性研究者もいいかも・・・と進路の選択の一つとなったかもしれません。

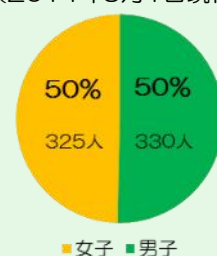
経済学部学部生男女別割合
(2014年5月1日現在)



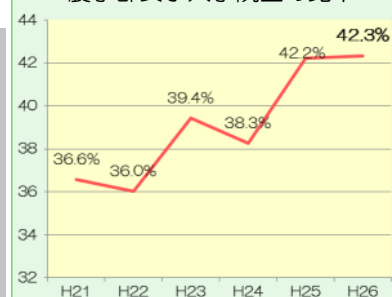
経済学部研究科(大学院)
男女別人数推移



農学部学部生男女別割合
(2014年5月1日現在)



農学部女子大学院生の比率



香大っこサポーター託児体験実習報告書

日時：平成26年10月1日（水）10:00～15:00

場所：集團療法室（北8号館2階）

参加者：4名（男性：2名 女性2名／教育学部：2名 法学部2名）

7月23日（水）に幸町キャンパスで実施した「香大っこサポーター養成講座 説明会」に続いて、10月1日（水）「香大っこサポーター託児体験実習」が行われました。これは、香大っこサポーターの個別の託児に備えて、指導者が見守る中、実際の乳幼児の預かりを通して、具体的な託児技術を習得することを目的に行いました。

国分寺子育て広場「ぶんぶん」を利用する保護者の方々にご協力いただき、託児ボランティアあゆみの代表 梶ヶ谷眞知子さんとスタッフの方のご指導のもと、香大っこサポーターは11ヵ月から3歳までの5名の乳幼児の託児を体験しました。

最初に、託児をする上での環境作りやおもちゃの出し方などで気をつけるべきことを教えていただきました。また、「子どもたちは、遊んであげるよりも、一緒に遊んでくれる人が好きなので、子どもたちと接するときは一呼吸置いてから子どもたちの要求に応えてあげればいい」とアドバイスをいただきました。



その後、実際に保護者からお預かりする際は、託児シートの記述を参考に、子どもさんの特徴や好きな遊び、アレルギーの有無などをお母さん方と確認しました。お母さん方が部屋から出て行った後は、絵本を読んであげたり、一緒におもちゃで遊んだりするサポーターがいる一方、泣き出してしまう子どもに戸惑うサポーターもあり、それぞれが一生懸命に子どもと向き合い頑張っていました。



お昼の時間は、みんなで一緒にお弁当を食べました。お昼の後は、眠たくなり泣き出してしまった子どもを辛抱強くあやして寝かしつけたり、初めてののおむつ替えに挑戦したりしました。午後からは、最初なかなか遊んでくれなかった子どもとも打ち解け、みんなで楽しく過ごすことができました。



サポーターからは、「初めての経験でしたので、どのように子供たちと接すれば良いのか分からず、最初はなかなかコミュニケーションを取れませんでした。しかし、他の方々がされていることを見よう見まねでやっていくうちに、少しずつ子供たちとの遊び方が分かっていった様な気がします。」、「ご飯を食べさせたりおしめを変えたりなど今後の自分の子育てにも生かせる良い経験ができました。」、「とても楽しい時間を過ごせました。こどもたちの不安を



理解して、それぞれの子に合わせた対応をするのが難しかったです。勉強になりました。」との感想があり、大変有意義な体験をすることが出来ました。

ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。



olive • heart

香川大学 男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1
北5号館1階

TEL : 087 (832) 1055
内線 : 1055
FAX : 087 (832) 1057

<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp